

# 平成 30 年度北広島市協働事業提案公開プレゼンテーション

日 時	平成 30 年 6 月 27 日（水） 16:10～18:30
会 場	北広島市役所 1 階 多目的室 2
出席委員	福与春美委員、及川正勝委員、村上廣四委員、成田俊樹委員
欠席委員	前田智加委員、
事務局 市出席者	【市民環境部】高橋部長 【市民参加・住宅政策室】米川室長、高嶋主査、梅木主任、畠山主事
提案事業 担当部局	【子育て支援部】仲野部長

## 1. 開会

## 2. 市民環境部長挨拶

皆さん今晩は。市民環境部長の高橋です。

日頃より市民協働の推進にご理解とご協力をいただき、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

また、大変ご多忙の中、出席をいただき、誠にありがとうございます。

さて、「協働事業提案制度」は、公益活動団体から提案された協働事業を、市と協働で実施することにより、市民ニーズに対応した、きめ細かな公共サービスを提供することを目的としているところでございます。

本日の公開プレゼンテーションは、協働事業提案のあった2団体より、事業概要などについて説明をしていただき、成案化すべき事業として協働性、公益性、必要性などの有無について、市民協働推進会議に諮るという趣旨であります。

提案団体から説明を受けた後、市民協働推進会議の委員の皆さんから審査に係る質問等を行っていただき、この後の協働推進会議において、事業の総合判定をしていただくこととなっております。

最終的には提案された事業を成案化すべきか、否かを市長が決定することとなりますので、宜しく願いいたしたいと思っております。

結びになりますが、今後とも皆様方のご協力をお願い申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

## 3. 市民協働推進会議委員及び事務局、提案事業担当部局の紹介

## 4. 公開プレゼンテーション

《協働事業提案2団体から発表》

### ■ プレーパーク推進事業（「きたひろプレーパークの会」発表）

きたひろプレーパークの会は、子どもが育っていくときに必要な遊ぶことにフォーカスをした団体です。

## 平成 30 年度北広島市協働事業提案公開プレゼンテーション

子どもの遊びは無駄なことではなく、自然とのかかわり、子どもたち同士のつながりなどが、生きる力を育てるものだと考えています。

昨今の遊びに対する社会の状況が昔より変わってきていると感じます。

昔は自然発生的に集まれていましたが、今は事前に電話して遊びに行ったりしています。

遊びには仲間と時間と空間の3つが大事で、その仕掛けを作ることをプレーパークの活動としています。

プレーパークは子どもが遊びを作る場。大人はこれをしちやだめ、これをしなさいではなく、見守りは必要ですが一緒に楽しめる場としています。

プレーパークの会は、昨年の10月から実施しており、会場は緑葉公園の近くのたまご公園で行っています。その場所を選んだのは既存の遊具がないことから、自分たちで遊ぶことを考えられるためです。あとは駐車場があることです。参加費は無料で、予約の必要もないです。

大人も子供もほっとする場を参加者と一緒に作っていきたいと考えていますが、継続するにはプレーリーダーがないという課題もあり、今は手探りの運営となっています。また、開催にかかる保険料等の経費が負担となっています。

協働することでプレーパークの継続性を高め、市には保険料等の経費と、プレーリーダー養成講座開催にかかる費用を負担していただけたらと思っています。

子どもたちが生き生きと暮らし、遊び続けられるような町づくりにしたいと考えております

### <質疑応答>

#### ○委員

子どもの成長に遊びは欠かせないと思います。継続した企画になればいいと思いました。プレーリーダーになるには資格が必要なのでしょうか、市内にいますでしょうか。

- 国家資格ではなく、養成講座を受ければなれます。北広島市には知っている範囲ではいません。

#### ○委員

健康な子ども達だけの遊びを対象としているのでしょうか。障がいの子どもは対象にならないのでしょうか。

- すべての人に来てほしいと思っています。プレーリーダーが支援していくことになると思います。

#### ○委員

参加人数はどれくらいなのでしょう。他の場所は考えているのでしょうか。また、周知はどのように行っているのでしょうか。

- 季節にもよりますが、子どもが30人、大人が20人くらいです。

今はスタッフの近くで開催していますが、他の地区で新たにできるのであれば、支援したいと思っています。

## 平成 30 年度北広島市協働事業提案公開プレゼンテーション

---

チラシを幼稚園、学童クラブ、住民センター等に置かせてもらって周知しています。

### ○委員

予算の収入・支出について、養成講座の費用ですが、講師の派遣費用ではなく、札幌市で行われる養成講座を受講する考えはなかったのでしょうか。

また、去年は生活クラブ館からの寄付金がありましたが、今回は考えていないのでしょうか。

- 札幌市での養成講座も考えたのですが、札幌市民が優先され、人数が多くて受けられなかったことが過去にあったため、北広島市内に講師派遣して養成講座開催を考えました。

今年は自分たちだけの会費でと考えています。

### ○委員

プレーリーダー養成講座を受講すると、プレーリーダーを名乗れるのでしょうか。

- 基本的には2日間の講習を受けるとプレーリーダーになれますが、その後も研鑽を続けていかなければなりません。

### ○委員

予算の財源を見ると、市の負担が23万円で95%以上を占めています。もっと自己資金を持った方がいいのではないのでしょうか。

- 今までは資金を貯めていく余裕が無かったのが現実です。これからは他団体との繋がりや私たちの活動に理解してくれる方を増やししながら事業ができたらと考えております。

---

### ■出張型（巡回型）ひろば事業（「子育て支援ワーカーズほっとまむ」発表）

子育て支援ネットワークは、有志12名で2009年3月に設立。現在50名で活動しています。

主な活動内容は、集団保育、個人保育のほか、地域イベントにも参加しています。

北広島地域の事業としては採算を合わせるのがなかなか難しいような現状となっており、これまで市の公益活動事業補助金の活用や、その他の事業で補てんし賄っていることから、協働事業として、事業を拡大していきたいと考えています。

ひろば事業を行おうと思った理由は、交通の便の悪いところにお住まいの方や、利用したいけれどもなかなか行けないという方から自分の地域に出張してくれたらいいなという声が多く寄せられたことから、巡回型のひろばというこちらから出向くものを開催したいと考えています。その他、利用している方からもスタッフとして活動をしたいという話もあり、子育てを実際に行っている方や高齢者の方など世代を超えて参加できるようなものになればと考えており、そういう場になりえるものと思っています。

市の方には、会場費や保険料などの経費や周知・広報の協力等を協働でお願いできたらと思っています。

この町で子育てして良かったと思える町にしていきたいと思っています。

# 平成30年度北広島市協働事業提案公開プレゼンテーション

---

## <質疑応答>

### ○委員

恵庭市と札幌市では市の事業として行っている事業であります、市の事業として定着するために課題となることは何なんでしょうか。

- 団体と市とでは把握できるニーズ・必要性が違いますので、市と協働で実施することで一緒に考えていけたらと思います。また、市で主催して、ほっとまむがお手伝いする形が良いのではと考えています。また、市のまちづくりの考えの中に「ひろば事業」を組み入れてもらいたいというのが私たちの考えです。

### ○委員

子どもを虐待するようなニュースを最近見ますが、小さいときの家庭環境や教育環境が大事だと思います。市や関係機関との関わりや、相談はされているのでしょうか。

- 気になる親御さんがいれば、支援センターや市などに伝えるようにはしていますし、一般的な情報交換は市や関係機関としております。

### ○委員

事業自体は大いに評価できることだと思います。他団体との協働を繋げていくことが大事だと考えるのですが、子育て支援ということでは市と連携を深めて事業を発展していただければと思います。

## 5. 閉会.

これをもちまして、「平成30年度協働事業提案団体による公開プレゼンテーション」を終了いたします。

事業の成案化の可否の決定につきましては、この後の市民協働推進会議において、本日のプレゼンテーションの内容に基づいた審査をいたします。

その後、市民協働推進会議における審査結果をもとに、市が事業の成案化の可否について決定することとなります。

決定の通知につきましては、7月中を目途に、それぞれの団体宛に通知をいたしますので宜しくお願いします。

本日プレゼンテーションをしていただいた「きたひろプレーパークの会」の皆様、「子育て支援ワーカーズほっとまむ」の皆様、本日は大変お疲れ様でした。